

次期総合計画タウンミーティング（瑞穂区） 開催報告

1. 日 時 : 平成30年11月11日（日） 14:00～16:10
2. 場 所 : 瑞穂区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、寺澤瑞穂区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 池田 哲也氏（（一社）地域問題研究所主任研究員）
5. 参加者 : 100名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・それでは、ようおいでいただきまして、ありがとうございます。
- ・まず最初に、この間、瑞穂区の区長が逮捕されるというとんでもないことが起きました。理由も理由で、とんでもないことでございます。まことに申しわけにやあとお詫び申し上げます。
- ・かわりに、ここにおります、優秀な区長を迎えました。ぜひひとつ皆さん、いろいろ声かけたりしたってちょうだいということでございます。
- ・今日は、中間案ということございまして、中間案といってそのままになってまう場合が結構多いですけど、そういうことはいかんとあってありますので、わしも言いたいこと幾らでもあるけど、まだ入っとらんことようけあるんですわ、これは。皆さんの、こんなこと言って区役所が何か言えへんかなということも、そんなことは気にせずに、どうぞ何でもええでそう言ってちょうだいということです。
- ・瑞穂区ということでございますが、ここはええとこですわ、これはね。ということでございますので。あんまり犯罪というより、犯罪のあれも一番低いんじゃないですか。たしかどえらい低いです。ということでございますけど、それとこれとは別に、いろんなご意見をぜひお寄せください。
- ・ということでございます。よろしく願います。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・それでは、改めまして、本日の司会進行をお手伝いさせていただきます、地域問題研究

所の池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

- では、早速ですけれども、今ごらんいただきました中間案につきまして、皆様からさまざまな角度でご意見を伺ってまいりたいと思います。
- 冒頭、司会の方からもご案内ありましたが、おおむね 80 分ほど、15 時 45 分ぐらいまでお時間がございます。大分時間もありますので、3 つに区切ってテーマごとに進めてまいりたいと思いますので、該当するところでぜひご関心のある内容をご意見いただければと思います。
- 皆様、この「NAGOYA をつくろう!」の 5 ページ、6 ページをお開きください。
- ここに、今映像でごらんいただきました都市像 1 から都市像 5 までまとめてあります。ここを少し区切りながら、まず第 1 ラウンドでは、都市像 1、都市像 2、この 2 つを取り上げてご意見を伺っていこうと思います。それから、第 2 ラウンドが都市像 3 と都市像 4、それから一番最後、3 番目が都市像 5、それから次期総合計画中間案全般ということで、この都市像の目玉でないところも含めてご意見を伺っていこうと思います。
- ご関心のある内容について自分の関心はここかなというところをちょっと見ていただきまして、ぜひそのときに遠慮なくご発言いただければと思いますので、どこで発言しようかななんてことも考えながら聞いていただければと思います。
- 前に進め方のページをごらんいただこうと思いますが、一応 4 つ書かせていただきました。
- まず、ご発言いただくときに、挙手をお願いいたします。そうしましたら、スタッフの者がマイクをお持ちいたします。ご発言いただくときには、我々もそうですけれども、周りの方にもよく聞こえるように、大きな声でゆっくりご発言をお願いいたします。それから、冒頭に、ぜひお名前とお住まい、今日、瑞穂区外の方ももちろんいらっしゃると思いますが、そういった方ももちろんお住まいも、差し支えなければぜひおっしゃっていただいて、その上でご発言をください。ご発言が終わりましたら、また係の者がマイクをお返しに伺いますので、そんな形でご発言いただくということです。
- それから、周りを見ていただきますと、今日は学生さんですかね、ありがとうございます。ですとか、恐らく初めてだと思いますが、赤ちゃん連れでご参加いただいている方もいらっしゃいます。ありがとうございます。いろんな世代の方にたくさんご発言いただこうと思いますので、大変恐縮ですが、お一人当たりの発言を少しコンパクトに、大体 3 分以内ぐらいでまとめていただければ、ほかの方の時間も捻出できると思いますので、ご協力をお願いできればと思います。
- それでは、ご説明をこれぐらいにしまして、早速始めていこうと思います。
- それから、ご質問をいただきましたら、数名いただいた後で、まとめて市長なり市のほうからご回答させていただきますので、一問一答という形ではなくて、まずまとめてご意見をいただけたら、後ほど回答という形で進めていきます。
- それでは、お手元の資料をごらんいただきまして、左のページですね、都市像 1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」、それから都市像 2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」、この 2 つの都市像に関連するご意見、ご質問あるいはご提案、素朴なご質問でも結構ですので、ぜひご発言をいただきたいと思います。

- ・ご発言を希望される方。
- ・一番後ろの方が、赤ちゃんがまだ今調子いいですけど、お眠になっちゃうかもしれないので、ちょっと先にいただいてもよろしいですか。申しわけありません。

【1人目（瑞穂区）】

- ・こんにちは。今日は、タウンミーティングのお時間をいただきましてありがとうございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。

【1人目】

- ・赤ちゃんがちょうど寝ていますので、しゃべれそうです。

【コーディネーター】

- ・今がチャンスです。

【1人目】

- ・次期総合計画の中間案というのは、今回の広報で初めて見まして。
- ・今、子どもを3人育てております。なので、今日は子育ての母親としての意見と、あと子どもの気持ちを代弁したいと思ってきました。
- ・次期総合計画の中間案の中に、重点戦略であります、子ども・若者応援戦略と子育て応援戦略についての提案があります。それは、子どもにとって身近な公園をつくってほしいということです。
- ・私の住む学区は現在、環状線から西側ですが、公園は一つもなく、放課後まで伸び伸びと遊べる場所が近くにありません。そのため、子どもたちが道路で遊んだり、名古屋市博物館や名市大の広場で遊んでいるのが現状です。ただ、これが、道路は危険がいっぱいで運転手の方に怒られたり、博物館の警備員さんにここはだめだよと注意されたり、大学では苦情も来ました。なので、そんな状況ですので、自然と子どもたちが外に出なくなっていて、家で遊ぶようになって、地域で子どもの姿が見えなくなっているのが現状です。なので、今回、広報なごやを見て、あっと思って来たんですけども。
- ・実際に2年前に、公園がなくて子どもたちがかわいそうだねと言っているだけではだめだと思ったので、名古屋市の緑政土木局に出向いて、公園をつくってほしいとお願いしに行きましたところ、実際に街区公園適正配置促進重点地区というのに指定されていて、実際本当に公園がないので用地さえあればつくりたいと緑政土木局の方は言ってくさっていたんですが、実際に土地がなく、不動産会社さんがやはり高く買ってしまうので市が買えないというのが現状ですと言われてしまいました。
- ・その状況がずっとだったものですから悶々としていたんですけども、やっぱり個人でこういうお願いしてもだめなんだろうなとへこんでいたところ、今回、直接タウンミーティングで、しかも市長さんに会えるということで、直接言えることがとてもうれしく

思います。なので、ここで私がお願いしたいのは、子どもたちのために公園をぜひつくっていただきたいということです。

- ・5月に行われた有識者懇談会というのを知りました。その中でも、やはり子どもの姿が最近見えなくなっているということと、放課後、子どもたちと夕暮れまで遊ぶ機会が減っているねという意見があるのを知りましたので、皆さんはそのことに気づいているはずです。なので、また公園に子どもたちの声が戻ってくるようなまちづくりをぜひお願いしたいと思います。
- ・具体的にほかの県では、例えば福岡市などは、地域の皆さんと行政と一緒に協力してワークショップなどを行い、街区公園の再生事業というのを行っています。ほかにも、富山市では、逆に子どもだけに限らず、公園というのは高齢者の方にもこれから健康の面にも必要なものですので、富山市ではコミュニティガーデン事業という、畑をつくって地域でみんなで公園を活用して活性化していこうという活動を行っているようです。
- ・そうやって地域の皆さんと一緒に公園をつくっていくという、そして公園づくりによって地域コミュニティ力をアップしていくようなまちづくりというのを私は切に願います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・よろしいですか。ちょっとお待ちくださいね。ありがとうございます。
- ・お願いいたします。こちらの手前の方。

【2人目（緑区）】

- ・このテーマを市長さんどんどん進めると、お金がたくさんかかると思いますので、どこやらに無駄金があるので、提案をさせていただきます。
- ・まず最初に、天白会場で南京問題の発言がありましたが、本年、提携40周年記念で予算も640万取られておるようでございます。国際交流課に私協力を申し出ましたが断られました。市長さん、南京と話してもいいよというようなことをちらっと言われました。私、南京市に深いパイプがございます。後でちょっと、まとめておきましたので、お役に立てることがあるかと思えます。
- ・それから、無駄なお金でございますが、市長さんとメキシコ会談の決着という題ですが、平成24年7月26日、市長様宛てに、保育所における諸問題について提案、企画書を提出いたしました。メキシコで、市長さんいかがでしょうかと申し出ると、よきに計らえということで、帰国してから、某市会議員をご指名いただきまして討議をしてまいりました。
- ・中身は何かというと、民間社会福祉施設運営費補給金、民調費とっております。1年間制度の説明し、児童養護施設の制度を見直し、さらに要綱にない執行がいかげなものかなということで、研究、調査、分析、結論を出してまいりました。
- ・名古屋市の補給金は、ざっとだけ残る補給金制度はないんじゃないかと思えます。この制度は、私が現役時代に制度を陳情し、中身は私が積み立てしたものでございます。したがって、私は、民調費の神様ですけど、区長さん、そうですよね。その人がいろいろ

ろ分析して、余分なお金がたくさんあります。施設側の人に、今日発言するよということを申し上げましたが、何の応答もありません。よきに計らえということじゃないかと思えます。

- ・ここに全部資料をまとめてありますので、ごらんいただきたいと思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・次の方、いかがでしょうか。あとお二人ほど。
- ・後ろの方から。最後、前の方もぜひ。

【3人目（千種区）】

- ・まずは、障害者とかそういう方の住みやすいまちづくり。実は、私自身も2~3週間前にひざをちょっと痛めて階段の上りおりが大変でしたので、地下鉄に乗るときにエレベーターはどこにあるかなと思って探しました。基本的に1つの駅に1基のエレベーターがあると聞いております。ただし、エレベーターも点検する必要があるものですが、点検するときは最低でも2~3時間エレベーターが利用できないと。そのときは階段昇降機があるからそれを利用してくれというお話をここへ来る前に確認してきたんですが、そういうお話でした。
- ・昇降機は、今使えますかと言ったら、ちょっと壊れておって修理せなかと。だけど、修理するにはお金がかかるから、いつ完成するかわからないとおっしゃってみえて。今名古屋も、海外から見える方もたくさん見えますし、小さいお子さんを連れてベビーカーで見える方がおるんですけれど、そうした場合、やっぱり1駅に1基のエレベーターではどうかなと思います。2基ぐらいはあるといいんじゃないかなと。だけど、それも非常に費用がかかるみたいで、経費的には大変と聞いておりますが、だけど、これは早急にお願ひできればありがたいな。
- ・もう1つは、現在、知らずに地下鉄に乗ろうと思って来たら、ちょうど点検日に当たっておったと。それで2~3時間かかるよと。そのときに昇降機を利用しようと思うと、携帯か何かで駅員さんに連絡せいという話です。階段のところに連絡の押しボタンも何もないよと。だから、そういう車椅子だとかベビーカー、または最近、海外の人も大きな荷物を持って。たまたま私、住んでおるのが千種区ですので、千種には、東山動植物園にも海外の人もたくさん見えますけれど、そういう人たちにそんなことをやっているのは現実問題として無理ではないかなと。
- ・だから、もう少し何か、次期の総合計画と言わずに、早急にその部分は改善していただきたいと。
- ・今の交通関係でもう1点ですけれど、公営交通というのは採算が合わなくても当然走ることですので、現在の交通会計では一般会計から百数十億円の支援金というんですかね、それを投入しておりますけれど、名古屋の地下鉄、市バスについては、市外の方も利用してみえる。市民は、一般会計から税で交通会計へ出しておるんですが、市外の方はそういう負担がないと。どれだけの市外の方が利用されるかは、数字的に構成比を聞いたら、そんな調査をやっとならんでわからんというお話でしたけれど、やっぱり市民

なりに何かいい方法で、やはり市民が一般会計から出しとるに相当するものを県とか国を通じて何か少しいただくように働きかけをぜひお願いできたらいいんじゃないかな、そんなふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・一番前の方にマイクをお持ちください。
- ・お願いいたします。

【4人目（瑞穂区）】

- ・河村たかし市長さんには、再々広報なんかでお目にかかっております。
- ・私の居場所、瑞穂区は、ちょっとはしょって言いますけども、非常に極楽浄土なところなんです。ということは、お姫様が、竜宮城があって、あそこの山崎川の通りに太鼓橋があって、その上に琵琶法師が琵琶を弾いて、そして源氏物語、源氏と平家の物語を旅人に聞かせた。旅人は無学で百姓ですね。無学であるがゆえに、ポロンポロンと琵琶を弾いて、学問とか事の、世の中の仕組みを教えた。源氏や平家の物語を百姓が聞いて、昔はお鉢の上にご飯を置いていった。今はお金を入れていく。そういう時代が変わってきましたね。
- ・瑞穂区、そして新瑞からぐるっと堀田までの1本の通りが妙音通ということは、妙なる音が常に聞こえる。妙なる音というのは、琵琶法師が琵琶を弾いた音が妙なる音です。
- ・ですから、日本中、世界中でも、この竜宮城があるところ、この瑞穂区しかない。そこには藤原師長という武士がおって、そして竜泉寺で水の囲いをつくって、それで水をあげました。それは名所旧跡になっています。看板も上がって。そして、そういう非常に恵まれたところなんです。
- ・そして、瑞穂区というところは、瑞穂の国といって、稲穂がよし、米がよくとれるところ、そして濃尾平野というのは非常に平坦であるけども、非常に肥沃でいい米がとれると。新潟のコシヒカリに負けんぐらいの米がとれるというくらいの土地です。
- ・私たちはこの県に生まれたということはまことにありがたいことです。ご先祖様がここまで導いてくださったということがある。我々ではできない、これは。
- ・この辺のところをよく感謝しまして、まず、たくさん申し上げたいです。ご先祖供養もしたい、それから水子の供養もしたい。供養するにはどうしたらいいか。水子の供養しようと思ったらどうしたいかということになると、まず第一に、第一の一が災害にならずに、万が一と皆さん言いますね、じゃないです。万が一の万が一の万が一です。
- ・そうすると、第一義的には、ご先祖供養が一番。例えば、河村市長さん、河村家先祖代々親族縁族一切の御霊を言って呼び出す。みそぎをして花を活けて、ここでお線香をあげて清めておくと、ご先祖が極楽浄土でお釈迦様の説法を受けとるから来ないんです。何ぼお参りしても。
- ・だから、そのときには、私にご先祖供養の秘訣を申し上げると、ちょっとはしょって言いますけど、「河村家先祖代々親族縁族の一切の御霊を……」これをもっと大きい声で3回言うんです。ということは、ご先祖様がお釈迦様に許可をもらって、子孫が呼んだる

と。だから少し、30分か1時間くれと許可をもらって、鬼の門を、青鬼赤鬼がえんまさんが開けというもんだで開く。この世に降臨といっておりにくるわけです。

【コーディネーター】

- ・ご意見、ご質問いただいたところ、最後、端的にどのあたりをおっしゃりたいですか。

【4人目】

- ・申しましたが、名古屋市は名城ありき。ということは、名城ありきというのは、そこに人がおらない限り、名城を見に来ない。観覧に来ない。
- ・だから、本丸御殿、本丸御殿にしても、150億か何かかかって、あれは大名様があそこに入って一服して、そして名古屋城で1泊するという大名行列の参勤交代ですね。これも一つのドラマとして残っているわけです。史実ね。ですからそれも1つ。
- ・もう1つ、名古屋というところは非常に水のいいところです。木曾川、揖斐川、長良川という木曾三川というのは、日本にないくらいきれいな水です。世界にもない。こんな水はね。
- ・そうすると、この木曾三川に恵まれておるところの私たちは、いかにご先祖様がいいところへ、いいポジションへ私たちを産んでくださった。産んでくださったのではなくて、それもAというお父さんとBというお母さんの中から産まれたわけではないです。産んでいただいた。アイ・ワズ・ボーン。ここで、一つの産んでいただいてありがたいということ。
- ・もう時間ないの。

【コーディネーター】

- ・すみません。ほかの方にも時間をとっておきたいので、よろしいですか。
- ・ありがとうございます。
- ・そういったところを、名古屋のいいところをちゃんと目を向けるべきだと、そういったご意見だったんですね。ありがとうございます。いろんな角度でご意見いただきました。ありがとうございました。
- ・最初にこちらの方が手を挙げられていまして、すみません、最後にこちらの方で。
- ・また最後に、3巡目に全体を通じてご意見いただけますので、特に若い方からご意見いただいと。

【5人目（瑞穂区）】

- ・私が考えているところは、1人目の方と全く同じ意見ですけれども、やはりこの瑞穂区、公園ですとか託児所、また児童館といった数が子どもの数に対して少ないと感じています。
- ・私、2年前、1年半前ですね、鹿児島からこちらに引っ越してまいりまして、非常に名古屋は住みやすく便利で、規模も大きいいいまちだと思いますが、子どもに対しては、そういった面では優しくないんじゃないかなと強く感じています。
- ・私なりにさまざまな、愛知県のホームページ等を勉強したところ、愛知県全体としては、

公園の数もこの 10 年間で大分増えてきていると認識しておりますが、この瑞穂区に関してはそのような状況ではないと思っています。

- ・私も今 4 歳と 6 歳の娘が 2 人いるんですけれども、鹿児島に住んでいたときは毎日、幼稚園から帰ってきますと、公園に行くと言って、家の前にある公園で遊んでいました。それが今では、帰ってくると「テレビを見ていい」「友達はみんなテレビゲームを持っているから Nintendo Switch を買ってほしい」とか、遊ぶ方向も名古屋に帰ってきて変わってきてしまっています。
- ・こういった状況を何とか打破するためにも、地域で遊べる公園、そんな大きいものをつくっていただきたいとは思っていません。ドラえもんの漫画に出てくるような空き地にドラム缶があったりとか、一般的な遊具がある小さい公園でも結構です。ぜひ外で遊んで、子ども同士がコミュニケーションをたくさん図って、よりいい成長を遂げられるような環境をぜひつくっていただきたいと心から強く思っております。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・それでは、一旦ここで区切らせていただこうと思います。
- ・ちょっと振り返りだけ。
- ・1 人目の方、それから今の 5 人目の方からは、やはり公園の問題を初め、託児所ですとか児童館、子ども関連の施設をもう少し充実できないかというご意見だったかなと思います。
- ・2 人目の方からは、無駄を省いて、ほかに財政上きちっと仕事ができるように、無駄なお金をどう省いていくのかというところについて、具体的に幾つかご提案をいただいていたと思います。
- ・3 人目の方からは、バリアフリーですとか観光客のおもてなしの観点から、駅のエレベーターの増設ですとか、あるいは職員の対応ですとか、そういったご意見だったでしょうかね。それから、公共交通のコストの負担についても少しご質問いただいております。
- ・それから、4 人目の方からは、名古屋のいろいろな歴史を踏まえたよさ、魅力をもう一度見直しをしていくべきではないか、再発見していくべきではないか、そんなご意見を伺ったように思います。

【コーディネーター】

- ・市長さん、お願いしてよろしいでしょうか。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・1 人目の方と 5 人目の方は同じ趣旨かと思いますが、確かに、私は東区だけど、僕らの子どものうちは、近所の高校の中で遊んでましたわね。広いところがありまして。公園というのは別個につくるか、しょっちゅう言っとるけど、学校施設というのは、日本最

大の隠し財産なんです、あれ、実は。広大な場所だで。一遍うちの息子に高校に行って遊んでこいと、親がいいと言っとるでと言ったら、校長に怒られたと。

- 一遍、これ、言ってもやれせんのですわ。例えば県立高校だったら県だし、小学校中学校でも、教育委員会の担当が違うわけだ、公園と大体が。だもんで、それはいかんで、区長がやるか、これ。今1人目の方が言わしたように、福岡とか富山でワークショップみたいなつくってやっどる、知恵を集めれりゃええですよ。
- 名古屋は財政危機だっでもし言ったら、うそですから、これは。貧富の差が激しいでね。わあわあわあわあ、お金がないと役人はすぐ言うんです。役人がとって金がないと言うたほうが権力を強めるわけです。これ、僕はそんなことうそだと思う。名古屋港でいや7兆円も貿易黒字があるんです、これ。半分トヨタですけど、日本最大の税金上納都市は名古屋ですから。第2位は川崎ですけども、ものすごい違う。
- だで、必要なところは買えばいいんです、これは。子どもさんのためならということで、問題は、縦割り横割りでやっていくかだ。それを破れるとしたら区長か。区長に言わせると、そんな権限ないとすぐ言うんです。何のための区長でようけ給料もらっどるんだということになるわけです。
- やると答えてください。今言っどることは。
- 本当にええきやあ。
- 一応この人か何とか調整監いう名前がついてますけども、こう言っどらっせるで、みんな一遍ワークショップみたいなやるとええですよ。せっかく赤ちゃん抱っこしてお見えになりました。

【1人目】

- どうもありがとうございます。本当にうれしいです。

【市長】

- これは続く。僕は学校の施設を使って。これは本当に。
- 特に、今見とったら、学校がぎょうさんあるんがね、これ本当に。だけど、名古屋市立は小学校と中学校ですけど、あとは、いわゆる市大の大学だとか私立高校、ようけありますわ学校が。そういうところなんか行ってみや。みんな閉まってまって。どえらい広い。入ってくと怒られるんだ、本当に。
- ただ、学校側にすれば、事故が起こったとき誰が責任とるか。それより外で事故が起こる可能性のほうがはるかにひどいですよ、今言われたように。普通の生活道路で。これ、せっかくこの話が出たで、企画調整監という名前がついておりますが、やる言っております。早速取りかかりたいと思います。
- それから2人目の方ですが、南京問題についてはええんですよ。だけど、仲よくするのはええですけど、ただ、南京事件について謝罪して撤回せよ言うもんで、それはできませんと私はと言っどる。
- ここは違うわやっぱり。何でもええで謝ってくるじゃいけませんよ、それは。ということでございまして、もしお骨折りいただけるんだったら、まず。そのかわり議論だけはさせてくれ言っどる、いくら何でも。中国の方が南京、30万人虐殺と言われるのは、

こっちがもしそういうこともなかつたらと、言うんだしたらと、言わしてくれないかんじゃないの、それって。言った途端に国交断絶すりゃ、ちょっといかんでということでございますので、ぜひお骨折りいただけるなら。別に中国はあんまり言いたないけども、南京の共産党が来たときに、あれは全部ビデオで撮られてますから。メ〜テレが一切録ってましたよね、ネットで出てます、河村さん何言ったか。

- こういうことはあんまり言いたないけど、中国は日本にとっては兄貴の国だと。漢字も使っとるし、もっと広い心でおってくれというような話をしました。議論はとにかくさせていたいただきたい。お骨折りいただけるならいいじゃないですか。
- それから、保育園の民調費についてはちょっと、これ、今もらったところですが、前に一回もらったような気がしますけど。まあ一回読ませていただいて。
- 3人目の方。これ、港区で実は話があって。エレベーターの修理を夜やらんいうんだな。何で利用が終ってからやらんのだと言っとるんです。そうしたら、何かいろいろあるからと。ちょっと待ってくれ言って、そういうお客さんとか利用設備については、お客さんが利用が終った後にやるというのは、これはその分残業代も払いますし、それは世の中、そういうわけで、そう言うておりました本当に。一体何なんだと。これって。港区であったのと同じテーマですわ。これは一遍、本当に利用が何時に終わるか知りませんが、12時ぐらいに終わるわけでしょう。それからやってもらえば。別に世の中で残業って、無理な残業はいかんであって、夜間作業やるところ、どこであります。
- それから、4人目の方ですけど、あそこのところは本当に、これ地図見とってても、区画整理はされていないですね。大変貴重なところです。名古屋はもう区画整理したでいかんですよ、もう本当に。道路ばっかつくって。味もそっけもあれせん。ひどいもんですわ。これ本当に。
- ほんだで、行きたくないまち日本一になるんです。路地をみんな消滅させたわけ、名古屋市の職員が、戦後。実際、8メートル以下の道路はつくらないということと、お墓を18万9,000基も平和公園に移転したんです。東京は3,000です。大阪2,000、名古屋は18万9,000。だから、これ情緒がなくなっちゃったわけ。
- これ見ますと、なかなか、あと1つ2つありますけど、こういう古いところは大事にするの。防災には十分注意を払うんだけど、京都と名古屋では、火災の比率同じですからね、言っておきますけど。みんな注意するんです。
- ということでございまして、例の藤原師長の妙音通ですか、ということでどえらい歴史もありますし、ちょっと区長盛り上げてやってちょ。昔の大事な話が残っとるもん。
- 頼朝もあるの。

【4人目】

- 市長、竜宮城をつくってほしいんです。竜宮城。

【市長】

- 竜宮城は、中におる美女も要るで。ええけど。お姫様。
- わかりました。検討させていただきます。

【4人目】

- ・こんな極楽浄土はない。

【市長】

- ・極楽浄土。
- ・5人目の方も、今の話で、そういうことで。一遍本当に早速取り組みますので、よろしくをお願いします。

【5人目】

- ・ありがとうございます。

【企画調整監】

- ・1人目の方と5人目の方、子どもの問題についてご指摘をいただきましてありがとうございます。
- ・私も今回、この新しい総合計画、子どもさんと親の総合支援のことについては、もう1つ大きな柱を立てまして、抜き出して市長からも指示を受けておりますので、さらに重点的に行おうという形で柱の一つに掲げておりますので、公園の問題についてご指摘をいただいたもんですから、これは市としても真剣に議論しないかんという意味で、メモを入れたわけでございます。
- ・今回のタウンミーティングでこういう形でお聞きしておりますけれども、特にお母さん、それから女性の方のワークショップも含めて、ほかにもいろいろ聞いておまして、いろんなお母さん方のご意見等を頂戴しながら、子ども施策についてどういうふうに取り組んだらいいかということについては真剣に考えてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【市長】

- ・具体的に言うと、子どもと親の総合支援ということで30億基金が積んであるんです。30円じゃないよ、30億。主にスクールカウンセラー系の、そういうもので苦しんどる子どもさんとか、発達障害児とか、そちらのほうのサポートのほうをイメージしております。子と親と一緒に遊べる公園なんかも同じことですからそういうものを含めて、とにかく皆さん相談して、金がないと言ったら怒ったってちょうだい。
- ・あと、市長ホットラインというのがありますからホームページに。そこに入れていただきますと、絶対に読みますから。どこどこ区役所の誰がいう個人名書いてくれりゃええわ。ものすごい水臭いこと言ったとか、それは本当に金がないんですかって言ってくれやいい。そういうことです。

【2人目】

- ・民調費の問題は区長さんがよくわかっと思っておりますので。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・次のテーマに進めさせていただいてよろしいですか。
- ・それでは、先ほどの資料に続いて都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」ということで、防災や消防、救急あるいは地域の防災力、そういったところがテーマになろうかと思えます。それから都市像4「快適な都市環境と自然が調和したまち」ということで、都市環境、環境保全あるいは低炭素型の社会、そんなキーワードが出てこようかと思えます。
- ・この都市像3、都市像4に関連するところで、ぜひご意見、ご質問いただければと思います。よろしく願いいたします。
- ・マイクをお持ちします。

【6人目（瑞穂区）】

- ・番号の3番か4番に、どちらかに入ると思うんですけども、今の瑞穂区山崎川で堤防沿いの草刈りが1年に2回ぐらいされておると思うんですけども、肝心な土手、要は川が、水が流れとるところに、一番ひどいのは呼続の駅のところ。3メートルか4メートルぐらいの雑草が生えていて、もう何十年放ったらかしで。要は環境ですね、例えば災害が来たり、あそこの何十年川のヘドロとかそういうものが全然ほじくってないし、時々におうんですね。僕、あの辺通勤で通つとるもんですから、何でこんなところ名古屋市やらないかなと。たまたま名古屋市の土木事務所とか事務員さんに尋ねたら、多分、これは名古屋市が金がないから、多分そのままほかってあるよと言ってましたけど。
- ・市長さん、ほんで市長さんが定期的に回ってくれたらうちらもありがたいですけどって言ってました。
- ・もう1つ、最後なんですけど、今、自分は瑞穂区と熱田区のちょうど中間点、新堀川の近くも全然、時期になると、ヘドロのにおいすごくくさいんですよ。そいつを一応名古屋市の市政とか土木事務所にメールでしたんですけど、全然、半年たっても1年たっても返事が返ってこない。たまたま現場の人に言ったら、私らは指示で動いとるからそういうのはわかりませんって言われて。そういう意味では、市長さんとか区長さんに意見いただいて、なぜ返ってこないかなというのを聞きたかっただけです。
- ・まとめて言うんですけどもう一度、堤防じゃなくて河川の下のところ、全体的に見てもらって、今ジャングル状態なんですね。瑞穂学区の近辺。あそこも通勤で通つとるもんですから、毎日通るなんで、これ、何でこんなことほかっとかのかなということ、2件です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・次の方、いかがでしょうか。
- ・お願いいたします。マイクをお持ちします。

【7人目（瑞穂区）】

- ・よろしく願いします。

- ・数年前にもお願いしたんですが、街路樹と、それから市営住宅などの樹木の剪定についてお願いしたいと思います。
- ・この夏の暑さは大変でして、40度を超えるような暑さがあったんですけども。まちを歩いておりましたその暑いときに助かるのは、街路樹の緑陰ですね。ところが、名古屋の街路樹は、むやみに剪定をして、まるで電信棒のようにになっている街路樹が多いですね。市営住宅の中の樹木が途中からすばっと切ってしましまして、全く枝がないような状態にするような剪定をしているところもあります。
- ・やっぱり私たちまちを歩いていますと、年とってくると、特に暑いのはかなわんですが、そういうときに街路樹の木に入って、ほっと憩いを求めようとしても、緑陰が点のようになってしましまして、ずっと続いていないんですね。ちょっと剪定がきつ過ぎるんじゃないかなと思います。
- ・前、昭和区のとときにこういう話をしましたら、市長さんも、わしもそう思うわやと言っていたんですが、一向に変わっておりません。もっとひどいことになつてくると思うんですけども、名古屋が来たくない、魅力のないまち1番という話ですけども、街路樹が乏しいことも一つの大きな理由じゃないかなと思います。
- ・まちなかの緑といいますと、やっぱり街路樹に代表されると思うんですけども、街路樹で道路を覆って、緑のポイントができれば、随分まちの印象も変わってくるんじゃないかなと思います。
- ・市長さんも、就任当初、東山動物園の視察をされたときに、こんな大きな木を切っちゃいかんがやと言われたのを新聞で拝見しておりますけれども、緑を大切にしていきたいと思います。
- ・名古屋市には幸い、天白川緑地だとか大高緑地だとか相生山緑地だとか大きな緑地があります。しかし、そういうものは点になってしましまして、全体が1つの面としてつながっていないと思います。街路樹で豊かなまちなかの緑をつくり、これをそれぞれの緑地と結びつけていったら、随分印象が変わってくるんじゃないかなと思います。
- ・これは緑の回廊ですけども、もう1つ、中川運河、堀川、それと名古屋城のお堀を結びつけて、船で回遊できるような水の回廊をつくったら随分変わってくるんじゃないかなと思います。
- ・今、百メートル道路の改良をやっているという話ですけど、それとも結びつけて考えていただけたらいいんじゃないかなと思います。クスノキを切るのはあまり賛成できませんけれども、そういうふうにやっていただけたらなと思います。
- ・ぜひ街路樹をむやみに切らないで、原則無剪定。道路があり交通の邪魔になるときに切るとしたらどうでしょうか。区に聞きましたら、年寄りが多くなって、落ち葉を拾うのが大変だということで、けんもほろろの返事だったんですけども、そうしたら落ち葉を拾って持っていったら肥料と交換するとか何かチケットと交換するというようなことも考えて。あるいは街路樹の剪定に向けるお金もそういう落ち葉を拾うお金に回すとか、そういうふうにしたらいいんじゃないか。
- ・どうも予算がつくから剪定するとなっちゃっているんじゃないかなと思います。ぜひ街路樹をもっと豊かにしていただきたいなと思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・ほか。
- ・後ろの方。

【8人目（瑞穂区）】

- ・災害に強いとか建物老朽化の話があったんですけど、冊子には、県とか国との関係みたいなのが全くないんですけども、災害があったら、市ですとか、名古屋市の中、コンピューターとかそういったもの、国とか県の施設のところへ置かせてもらった間借りして災害時に使うとか、逆のこともあると思うんです。そういう非常時になったら余計県と国との協力が要ると思うんですけど、そのためには、日常から協力し合う関係が要ると思うんですが、それはここに書いていないんで、どうなっているのかなというのがわからないので、説明が欲しいです。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・すみませんが、いまお挙げいただきました方。

【9人目（東区）】

- ・本当は発言するつもりではなかったんですが、街路樹の話が出たんで。
- ・もともと自分の祖父母は東区におりました。名古屋市のグランドデザインでいうと、東区はやっぱり静かに暮らしたいという人が多くて。久屋大通の再開発計画だと、やはりケヤキですね。今までの、河村市長さんだけじゃなくて、歴代の市長さんたちがきちんと剪定していない。名城公園のケヤキに比べると元気ないんです。結局枯れかけちゃっている。とも倒れになっちゃう。今回は商業施設に変えるという形になっちゃったようなんですけど、やっぱり丸の内、外堀、泉含めて、都市公園法が変わってしまったので、今の方たち発言ありましたけど、今回の都市公園法は、一番の目的は、保育所がないから都市公園の中に保育所をつくっていいということですね。それにいわゆる菜園をつくってもいいよ、最後にカフェだったんですけど、カフェが一番最初に来ちゃったんですね、今回見ていると。
- ・話をまとめますと、ケヤキの木というのは、私たちが見ても密度が多いので、それは適当に抜いてもらうというより、木を切るとかわいそうですが、どこかほかの緑地公園なりに移設していただいて、適当な間隔でちゃんと北側からでもテレビ塔が見えるようなインスタ映え、南側からの開発を考えずに、北側からの景観を大事にして、名古屋の都心にこんな散歩ができる場所があるというのは、一つの売りになると思うんです。
- ・去年、国立の市長さんをやってみえた上原さんとお話しする機会があったんですけど、河村さんならちゃんと残してくれるんじゃないのと言っておりましたので、ぜひそのところひとつよろしくお願ひしたいと思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・では、ちょっとここで一旦区切らせていただきます。
- ・4名の方からいただきました。
- ・最初、6人目の方からは、山崎川、新堀川含め、雑草ですとかヘドロですとか、河川の管理についてもう少しできないかというご意見だったと思います。
- ・7人目の方から、今のご質問とも関連しますが、まちの魅力ですとか憩いのスペースとして、もう少し緑陰を残すような樹木の剪定ですとか、あるいはさまざまな緑地のネットワーク化、そんなご提案もいただいていたかなと思います。あともう1つ、水の回廊という考え方も示していただきました。
- ・それから3点目、8人目の方からは、災害時を想定して、国・県との連携のあり方、今どういう連携とかしているのという、そこら辺をぜひ知りたいという、そんなご質問だったと思います。
- ・最後、9人目の方からおっしゃっていただいたところです。
- ・では、市長、お願いいたします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・6人目の方の新堀川がくさいと。あれは、今年予算、1億か2億かけまして一応とりますけど、まだまだ足らんと。それから山崎川の呼続の駅ですか、この辺は、ぜひ提案書にして、「提案書」と書いて、手書きでええですから、市長ホットメールってありますわ、ホームページ見ると。そこへ、ここでしゃべった俺だと書いてください。絶対市長に届けよと、途中でもみ消すなとやると来ると思います。ものすごい来ますんでわしも大変ですけど、これ全部読んでますんで、ホットライン。これがあるかないかは大きいです。できましたら、お一人よりも近所の人、学区でいただいてもええけど、みんなで声かけさせていただくと、やっぱ現場に回しても、無視は一応できんですよ、これがなかなかややこしなるで。だから、そこから正式な話に入ってきますので、ぜひ言ってやってほしいと。
- ・ここで言っっても、先ほどの街路樹の剪定のことだけど、今本題ですけど、就任のときにわしが切っちゃいかんと言ったということなんだけど、変わっとるんだよね、はっきり言って。自分で言うのも恥ずかしいけどよ、別に遠慮することじゃない。市長が何かわからせん、こんなもん。もう役人機構が強過ぎて、もうあまりいかんけど、アメリカなんかだったら、ロサンゼルスでも5人ぐらい局長連れてくるんですよ、市長がばっと。局長だけで。あと、ぶらぶらおると。大統領だって、2,000人から3,000人おりますから。そういうことで役人機構も変わるんですよ。
- ・日本の場合、偉い様ばっかそろって、何ともならんです、これが。そういうことでございますので。そのためには、一応今言いましたように、要望書か提案書を市長のところきちんと入れてほしいと。そうすると一応きちっとアンカーボルトが打てるというところでございます。
- ・ということでございますので、ぜひ呼続と新堀川がくさいと。新堀川なんか、もったいないわね、あんな途切れて。とっておりますので、ぜひ提案書にして出していただき

たい。

- ・変な話だけどね、ここで言っとして書けと。文書がないとやりにくいということがあるんですわ。
- ・それから、7人目の方の木の剪定ですけど、どっかしら、東南アジアか、もう一切剪定しないという国がありますわ。うわ一生えてます。本当に交通が危ないときは切りますけど。確かにそれでええじゃないかと思ってますけど、私がというか、予算がついてますので、その分の消化ゲームでやっとするんでしょ大抵。そこをもう一回考え直すというのはなっとなんと思いますが、どうだい企画調整監。
- ・なかなかね、縦割りになっとして言えんのです、これ。思っとしてても。
- ・だけど、それも要望書出してもらったほうがええですね、やっぱり一遍。ちゃんとといいます、緑政土木局にちょっと考え直せと言うんだけど、どうやっとしててもいかんけど、考え直すのは担当課で、その担当が2~3年しかおらんのです、これ。そうすると新しいことやれせん。自分が責任とらならんで。だで、そういう今の役所の2~3年で全部担当がかわるいうのも考え直さないかんね。
- ・昨日も、某区の人と話しとったら、そう言っとなんしたわ。せっかく仲よなってわかってきたのに、みんなかわってまうじゃないかという話で。わしがこうやっとして、わしの仕事なんだけど、これ。800万もらっとなりますので、ちゃんとやらなあかんと思っとなりますので、文書で出せるのならば出していきたい、提案書で。
- ・それから、8人目の方の災害があったときに市のいろんなコンピューターとか県と国との協力はどうなっとなるんだということ。ちょっとわしわからんもんで、こちらのほうでお答えします。
- ・それから、9人目の方のところは、名古屋のど真ん中の昔の古いとこですけど、この辺から何だねケヤキが、久屋のケヤキが元気がないということですか。なるほどね。あそこも切るな言っただけど、どうしても何がどうこうので若干切りましたけど、久屋公園の北のほうの、外堀通のほう。
- ・ほんでも元気ないかね、あそこの久屋大通公園。

【9人目】

- ・根が絡んじゃってる。

【市長】

- ・根が絡んでまってる。
- ・ちょっとまた調べさせていただきますけど。
- ・木とか古い家とか、ああいうものはなるべく残してったほうがええと。
- ・そういうことだで、一遍もう一回ちょっとチェックしてみますわ。あんまり切るな言っただけど、切ったんです。若干切り直しになってますね。
- ・あんでようになったかと思っただ。元気がないのは、あの辺がちょっとおもしろなれば変わってきますけど、僕は本当は子どもの都心のキャンプ場にするのがおもしろいと思っとなんた実は。

【コーディネーター】

- ・先ほど、災害時の国・県との協力について説明してください。

【企画部長】

- ・企画部長でございます。
- ・先ほど災害時の国・県・市との関係ということでございます。
- ・まず大きな枠でいいますと、名古屋市の防災会議というのがありまして、そこには、インフラの業者だとか含めまして、国、中部地方整備局が入っていたりとか、愛知県の防災局が入っているという状態になっていまして、定例的な会議を行っているというのが1つございます。
- ・それから、例えば自衛隊なんかの派遣要請。災害時ですけど、こういうときには、今のところ県に要請する形になっておりまして、そういうところでも県とのつながりとか、それから仮設住宅についても、今のところは県を通じてということでございますので、こういうところでの連携がございますので、そういうことができるように、常に国と県と市との連携は、そこでとっているということでございます。
- ・また、県の中にも、県と、愛知県内の市町村との防災の会議というものがございまして、そういうところでも情報共有等行っておりますし、それから、名古屋市としても、近隣の市町村の防災担当の課長会議というのもやっておりますので、そういうところで意見をまとめて県に申し入れる。そこに県もアドバイザーとして入っているんですけど、そういうところでも県との連携というのをやっております。

【市長】

- ・コンピューターはどうよ。

【企画部長】

- ・コンピューターに関しては、直接つながっていないので、なかなか今すぐというわけにいかないと思うんですが、例えば場所がなくなったら、そのパソコンを移して、そのコンピューターを動かすとかいうことになってくると思うんですけど、なかなか今の状態では、それは簡易的ということではないので、万全という状態ではないんですけど、もし何かあったときにはお互いの情報共有ということにはさせていただきなきゃいけないし、必要な施設については使わせていただけるように交渉していくことも、窓口を開いておりますので、そういうことができるように常日ごろからお互いの意思疎通をとっています。
- ・あわせて中部地整に関しましても、国の機関ですけど、こういうところとの意思疎通というのはやっておりますし、実は私、防災におりましたので、その辺の顔が見える関係というのも常につくっているという状態になっておりますので、そういうところは安心していただければいいかなと思います。
- ・機械そのものが、具体的に起きたとき、そういう機械の御指摘というのは確かにあるかもしれませんが、そういうところはちょっと課題があるかもしれませんが、連携等は常にとらせていただいているということでございます。

【コーディネーター】

- ・お願いいたします。

【企画調整監】

- ・街路樹のご指摘を頂戴いたしました。
- ・街路樹のご指摘につきましては、ここのタウンミーティングだけじゃなくて、どこのタウンミーティングに行かさせていただいても、同じようなご指摘を頂戴しておりまして、私ども計画を担当する所管といたしましても、やはり市民の皆さんの不満といたしますか、いうところにあるということは、我々としても把握いたしております。
- ・また、市民の皆様、2万人の方に直接アンケートをとりましても、やはりこの辺のヒートアイランド等含めまして、満足度が低い項目ということも把握しておりますので、名古屋市全体で街路樹 10 万本ありますけども、これもどういうふうにしていくか、一度市長を含めて、関係の局等も含めて、計画の中にどういうふうに位置づけるかといった観点から検討していきたいと思っております。
- ・ありがとうございました。

【市長】

- ・街路樹、今年までは単位当たり、何の単位だか忘れたけど、日本一だったんですよ、名古屋は、実は。だけど、このたび大阪の堺に抜かれまして、日本2位になりました。
- ・それだけ多いけど、何で多いということがわからん。道路が真っすぐだもんで、車で走っとるとき、街路樹が基本目に入らん、横にあるで。東京や大阪の道というのは、もっとぐにゃぐにゃしとるもんで、向こう側にある街路樹が目に入るんだ、回るところが。ということがあって、日本一だけれども、そんだけの何となく値打ちが感じられん。
- ・だで、ミスター街路樹とかミセス街路樹でもつくって、ちいと盛り上げないかんじゃないかと言ったのが8年前です。全然採用されませんけど。
- ・それから、中川運河、堀川も、こういうところはやっぱ何やとるんだと、逆に言うと。名古屋は。中川運河でコノシロという魚が45万匹この間死にました。これ、どうやって数えたんだということがまず問題ですけど、45万。一方、名古屋港って7兆円の貿易黒字がある。だで、まず、きれいにするばっか言っとらんと、まず供養せよと。ということで、この間供養した言っていましたけど。
- ・何できれいにならんかについては、とにかく水は結構きれいなんです。だけど、下のヘドロの色が映るとするわけ。それと護岸が黒いですわね、堀川とか何か。五条橋の南いうのは真っ黒です。だで、はよせきとめて、ポンプで水を抜いて、半日か1日でできますよ全部。今ものすごいポンプの能力。
- ・ほんで、抜いて、ヘドロをとりゃいいじゃないかと言っとるんだけど、護岸がどうしても崩れてくる言うて、当局が聞かんのだ。護岸が崩れるって。ほいじゃ堀川の、今言いましたけど、五条橋の真下なんていうのは、干潮になるとほとんどすれすれになりますよ、水が。あのときに何で崩れてこんとい言っとるんだけど、それは聞かんでいかんがや。護岸が崩れる。

- ・わしは、崩れそうになったらやめりゃええが言うてる。とか、コンクリートのところはいくら何でも崩れんだろ。基礎まで打ってある。コンクリートがないとこ、ちょこちょこありますが、そういうところは矢板打ってやるとか、やれるがやと言ってるんで、これ何十年もたつとるわけでしょ、これ。
- ・それより実際は、堀川なんかは熱田神宮の南のほうから、国の補助金を受けてやっていくというスキームになってまつとるわけ。それを、がぼつと上のほうを、名古屋城の近くをやるようなのはできんのか結局。
- ・そういうことなんです。一旦運用のことをやると役人が、特に国の決めた話、国とで決めた話を変更するというのは本当にやらん。悲しいことです。あの3川がうまくいって、あそこの閘門を通すところへとまるようになりますからね、これ。というのが正直な現状でございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・すみません。大体目安の時間ちょうど来ておりますので、最後残しておりますのが都市像5「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」ということで、ここは、先ほどご紹介ありましたリニアやアジア競技大会の話ですとか、あるいはものづくり、商業、産業全般、さらにはプロモーション、スポーツ、名古屋城の話もこんなところに該当するかなと思います。
- ・それから最後3巡目は、計画全般についてということでも結構ですし、改めて前半の1、2、3、4でちょっと発言し切れなかったことがありましたらそちらでも結構ですので、ご発言をいただこうと思います。
- ・こちらの方からお願いいたします。

【10人目（天白区）】

- ・都市像5に当てはまると思いますので、2つほどご提案させていただきます。
- ・1つは、お金のかかる提案です。私は、河村市長が進めておられます名古屋城の木造建築は大賛成です。自分が人から聞いた話ですけども、日本でも、今、400年前の設計図が残っているのは名古屋城だけだと聞いております。やはりそういうようなものを具体的に、CGとかいうのがありますが、やはり実際の実物として400年前のがこれなんですよとあるのは、やはり私は本気で名古屋の誇りになると思っております。
- ・1つ申し上げます。
- ・30数年前に初めて名古屋城に入って、私外から来たものですから、びっくりしました。普通のビルと同じエレベーターで、これがあの名古屋城名古屋城と、名古屋城ってこれかと言って、実は私本気で名古屋の方のセンスを疑いました。ですから、本当に400年前のあれが実現、復元できたら、名古屋人の本当の誇りになると私は本気で思います。これはお金のかかる提案です。
- ・お金のかからない提案として、やはり日本にいとあまり思想・信条の自由とか表現する自由というのは、あまりにも当たり前過ぎて意識されませんが、やはりそれは、本当に意識して真剣に守るべきもの、守るべき価値があるものだと思います。

- ・しばらく前、私は一度もまともに聞いたことがありませんが、ヘイトスピーチ条例というのが検討されていると聞いて、簡単に自由に自分のことを表現できなくなるのかと、本当に私はつくづく思いました。これは、本当にそういうことはやってはいけない。本当に意識して守るべき価値だと思います。
- ・そういう意味で、実を言うと、中国の先ほどの南京。中国という国は、やはり国の政策として、実に平気でハッキングもしますけど、歴史のねつ造もするし、平気でうそをついて、尖閣も自分たちのものだとか、チベットであれ内モンゴルであれ、新疆ウイグルであれ、平気で侵略する。あるいは南シナ海、東シナ海、その他でもありますけど、それが現に中華人民共和国という国の実像であると。それが実際の姿である以上は、名古屋市はむしろ積極的に自信と誇りを持って南京との姉妹都市、友好都市はありませんよ。積極的に自信を持って断つべきだと思います。
- ・つまり、日本というのはそういう国ではありません。歴史のねつ造なんか日本はしないし、思想・信条も自由、表現の自由も持っている。名古屋市では、むしろ私たちは積極的にそういうまちとは友好関係は持ちません、むしろもっとほかの、もっと公正な紳士的な国ですね、インドでもほかにもたくさんありますよ。いくらでも都市はあります。そういうところと本当の友好関係を築くんだと、本当に築いてほしいです。
- ・これについては、特別な予算をつける必要もない、お金をかける必要もない。日本とはそういう国なんだと。むしろ中国に対して、あるいは世界に対しても積極的にメッセージを発するという意味で、むしろ積極的に姉妹提携はするべきではない。日本というのはそういう国なんだと、もう中国が自由に宣伝をして、うそを言って、自分たちの既成事実をつくり上げていくのを私たちは、むしろそれは認めませんよ、許しませんよというメッセージを込めて、積極的に姉妹関係を断つべきだと提案を申し上げます。
- ・以上です。ありがとうございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・先ほど、こちらの方、まだお待ちいただいております。

【11人目（瑞穂区）】

- ・来春にでも入国管理法が改正されます。それに伴いまして、外国人材の受け入れが加速すると思います。今の議論としては、労働力の視点で議論がされておりますけど、生活者の視点という議論が非常に少ない。なおかつ、名古屋市、今まで外国人材、東京、大阪に比べて少なく、いろんなトラブルもあまり聞かれない地域だったんですけど、これからは外国人と生活の面で共生していく時代がもう間もなく来ると思います。
- ・そのための施策をこの中期計画の中に入れ込んでおいていただければなと思っております。
- ・1つの提案としましては、名古屋市、区政協力委員イコール町内会長という非常にうまい制度があります。かなり働かせられておりますけど。そういう制度を利用して、外国人材の生活の支援といいますか、共生を取り入れていったらどうかなという提案でございます。

- ・具体的には、町内会組織に外国人材を加入を、これ強制はできませんけど、手続のときにぜひ誘導していただければと思っております。その中でも、町内会に入っただけではなくて、地域の活動に外国人材も参加していただいて、そうすることによって、この地域のルール、文化であるとかその辺になじんでいただく。それと、もとからいる日本人も外国人材と触れ合うことによって、異文化コミュニケーションの訓練にもなるかなと思っております。
- ・ちょっと話が飛躍しますが、名古屋市があまり魅力がないまちだと、こういう評判なんですけど、これはハード面はさておき、ソフト面の、名古屋人のソフト面というのがちょっとネックになっているんじゃないかなと思っております。これは、非常に異文化、海外の人のコミュニケーションが苦手な人が多過ぎます。
- ・ですから、こういった地域活動の中で、外国人材とコミュニケーションをとることによって、地域の人も訓練されて、それが広がっていけば、名古屋人のコミュニケーション力も上がるのではないかと考えておりますので。
- ・これは、ただし、また区政協力委員の仕事が増えることでもございますので、行政のバックアップも、強力なバックアップをお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・後ろの方、お願いします。次いでそちらの方、よろしくお願い致します。

【12人目（瑞穂区）】

- ・区政協力委員を5期やっております、5期目に入った。9年やって、来年で5期10年になりますけど。
- ・私、名古屋港のいろいろボランティアとか、去年の3月までナイトクルーズのガイドをやっておりまして、非常に名古屋港も、市長が言われたように、日本一の貿易港ということで、自動車と自動車部品と、非常に魅力があるんですね。ところが、去年の3月に船がなくなりまして。レゴランドに転用されまして、それ以後やっておりません。非常に残念だと思います。
- ・今見ますと、港と水辺の魅力向上というのをしておりますので、3年間ガイドして、小学生、中学生、それから一般社会、山梨からの観光とかいうのをやりまして、ガイドは毎回満席です。大体50人ぐらい乗りますけど、8割ぐらいがこの地域以外の人たち。北は北海道から南は沖縄まで来ております。その後あと当然名古屋市内に泊まって帰ると、こういうあれがありまして、約1時間のガイドですけども、もっともっといういろいろ説明することはいっぱいあるんですね。大きな製鉄所があり、名港トリトンがあり、いろいろあります。それがなくなったというのは非常にもったいない気がしまして。
- ・いろいろ採算の面もありますけども、何とか復活できんかなといういろいろ思っておりますけども、そんなことでありますので、ぜひ名古屋港の魅力を訴えていただきたいということでございます。

【コーディネーター】

- ・すみません、船がなくなったというのは、不勉強で申し訳ないですけど、どこの船ですか。

【12 人目】

- ・よそへ転用したんです。中川運河、そちらのほうへ転用したんです。船がなくなって、桑名から業者を呼ぶといういろいろな話が出たんですけども、やっぱり採算面でダメだったんですね。

【コーディネーター】

- ・わかりました。すみません。ありがとうございます。
- ・最後の方。

【13 人目（昭和区）】

- ・今日はこういうお時間をいただきましてありがとうございます。
- ・今日は、交通機関のことについてちょっとお願いしたいんですけど。
- ・名古屋は地下鉄のそばに住んでおりますと、すごく便利で住みやすいですけど、一步中に、地下鉄まで私の場合、地下鉄まで 15 分か 20 分ぐらい歩かないといけないんです。
- ・そうすると、どうしても足の痛みにたえかねてバスを使うことになるんですけど、バスが 1 時間に、前は 3 本か 4 本ぐらいあったんですけど、地下鉄が便利になるにつれてバスの本数がすごく減っております。
- ・中心のほうに行きますとタウンバスみたいなものが、ぐるっと回っているバスがあるみたいですけど、昭和区はそういうものもあんまり発達していませんので。タウンバスみたいなものを見ていると、1 時間に 1 本ぐらいしかないんですね。これではタウンバスとは言えないんじゃないでしょうか。もう少しやっぱり、高齢者だけではないと思うんですけど、バスというのは自宅のそばまで来ていただけますので、どうしても使いたいときがありますので、1 時間に 1 本か 2 本ではなかなか生活していくのに安易なところとは言えないと思いますので、ぜひタウンバスみたいなものをもう少し、10 分ぐらいに 1 本ぐらい走らせていただけるような感じでやっていただくといいんじゃないなと思いますので、よろしく申し上げます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・それでは、前の方、お願いいたします。
- ・きちっと記録もとりたいので、マイクでお話し下さい。

【14 人目（瑞穂区）】

- ・皆さんもご存じだと思いますけど、これからは、IoT、IT、ロボットの時代だと思います。よって、できましたら、名古屋市もしくは瑞穂区にもそういうことを研究する部をまずつくっていただきたい。

- ・今少子化の問題がありますけれど、我々は夜会議をやるわけですから、皆さん、若い方は仕事をしておられて、実際に出席できないというケースが多々あります。昔は、ほとんど6時までにはお仕事が終わりましたので、それから翌日の8時もしくは9時までには人間が働いてなかったわけです。
- ・夜の仕事は、ぜひIT、ロボット、こういうもので賄っていただいて、その人たちを昼間の仕事に向ければ。もちろん全体として人口が減っていても、実際に働けるという時代が来るんじゃないかと思います。
- ・よって、今一番ここで言われてます高齢者、障害者もみんなが元気だというお話がありますが、実際に、今は、夜働いている人たちが大変な時代であることは事実だと思っています。よって、ぜひ名古屋市としても、将来を考えて、IoT、ロボットを研究していただいて、逆に言ったら、名古屋市はロボットを与えるから、その利益を上げていただくようなことをぜひ検討していただきたいと思っております。
- ・よろしく申し上げます。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・それでは、時間もそろそろ来ておりますので、このあたりでと思うんですが、今日は学生さんがお二人お見えになっていて、お二人何かよろしかったですか。
- ・ぜひ一言だけ。お一人ご発言いただけるそうですので。

【15人目(南区)】

- ・先ほどの話に、IoT、ロボット等のお話がありましたが、それにちょっと近い話ですが、今後小学校・中学校などでプログラミングが必須科目になるというのは前々からある話ではありますが、そのことについてなんですけど、ちょうど私たち世代はちょうどそういうプログラミングなりIoTのさわりというものが、なかなか機会が少ないんですよ。
- ・ですから、できれば、名古屋市が主催するという形でしていただければ、そういうプログラミングなりそういう機械、さわりの部分だけでもいいです。さわりの部分から今後興味を持ってということですが、やはりちょうど中間に当たりますので、これだけの産業、そしてこれからの産業のちょうど中間世代に僕のちょっと上の先輩方、そしてもう少し下の後輩方などにさわる機会が少ないというか。
- ・ですので、そこを何とかしていただければますます興味を持って、その業界へ人が増えるのではと思います。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・すみません。私がちょっと欲張って、いろんな方にご発言いただきました。もう時間も残り少ないですので、振り返りは省略させていただいて、早速市長、コメントをお願いいたします。

【市長】

- ・それでは、私のほうから言います。
- ・まず、10 人目の方でございますけど、お城は本当に木造にせないかん。やっぱり名古屋人の誇りというか、今後 1,000 年は大事にせないかんですな。やっぱり本物を愛する心というのが重要なんで。福祉の方も、全員じゃないですけど、そのままでええと言う人もようけ見えますけど。今も世界コンペやりまして、階段を上がっていくとかその辺は精いっぱい努力しますが、今言われているような 11 人乗りのエレベーターつけようと思うと、柱 10 本、梁 30 本切らないかんのですわ。空洞つくらないかん。そうなると、中がもう木だけではつukれない。鉄骨でつukらないと、安全性というか強度が足らんでくるので、そんなことならやらんほうがええじゃないかと言う人がおるんで。やっぱりみんな、せっかく凶面を残してくれたと。言われたように、世界中で名古屋しかないんです、これ。何とこうい実測図というのは。だから、つくってくれた人に感謝する気持ちも要りますわなこれ。
- ・そういうことでございますので、ぜひ皆さんにも応援していただきたいと思います。1,000 年はもちます。法隆寺が 1,300 年です。名古屋城もちます。空襲がないように今度は、平和な国をつくってかなかんということですよ。
- ・それから南京問題につきましては、本当に困ったもんでね、これもまあ本当に。だけど、いろんな民間の人があんまりきついこと言わんでくれというのがありましてね、これ。だけど、しゃあない。だけど、謝って訂正することはいかんそれはと。言うことはきちっと言わないかん。皆さん、何かと思われるかわからんけど、もし 30 万人も、日本人が民間の市民を虐殺したんだったら、全員土下座せないかん、これ。本当だしたら。これは。
- ・もし違ういうなら、言わなきゃだめです。やっぱり僕はそういうことで言っとるんですけど、なかなか人生つらいことが多いもんで、ということ。
- ・それから、11 人目の方の話はどえらいありがたい話で、一遍内部でやらさせていただきますけど、区政協力委員さんに外国人とのコミュニケーションを一遍当たらせたらどうだということ、こちらから言うと感じ悪いもんで、皆さんのほうから声かけたってということございまして。
- ・外国人なしで、日本人だけでやっていければそれでええかわからんけど、そこはね、日本の場合、特にこの辺は自動車で外国で儲けさせていただけいとる国だもんで、これはめちゃうちゃ移民国家にしてむちゃうちゃにしようと思ってませんけど、必要なやっぱりコミュニケーションのとり方が重要だと思いますよ。
- ・区政の皆さんにばかやろう言われるといかんけども、話が出てきた魅力のないまちの一つの理由で、何となく名古屋人はぶっきらぼうだ言う人がおりますよ。特に外国人にはそうなると思います。
- ・外国人見たら、何でもええでハウアーユーと言おうとか、アイラブユーでもええですけど、そういうようなことから始めていくのもおもしろいです。ちょっと相談したいと思います。
- ・それから、12 人目の方の夜の船、わしも乗ったことあるけど、ずっと行きますわね、あれ、なしになってまったかね。

【12 人目】

- ・はい。去年の3月。

【市長】

- ・そうですか。それは惜しいですね、これ。川崎なんかは、夜間港のクルーズでもものすごい盛んで、きれいなんです。工場の光がだっで見えますから。名古屋港は、本当に何とか盛り上げないかんですね、これ。貿易黒字だけは日本一なんですけど。
- ・ただ、名古屋港の外なんです、今や。何ですか、飛島とか弥富だとか、ああいうところから出てっておりますので、昔の名古屋の一番のもとというのは、寂しなってまったんです。居酒屋もみんなあれせんしね。港いうと、大体美空ひばりの港町十三番地か何かで、港の女の話が出てきましてね、大変情緒があるところなんです本来は。
- ・これちょっと一遍、今考えとりますけどいろいろ、わかりました。
- ・それから、13人目の方の地下鉄まで遠いと、タウンバスと。タウンバスの話も出ますけども、これでまたお金がどうのこうのとなるんで、一遍相談しますけど、タクシーがちょっと金かかるいっても、名鉄は敬老パス1割引、名鉄だけです。来年の4月ぐらいからは、つばめもやる言うてます。これは頼んだ。わしは、ほんだで敬老パスを自分で持った。1割引だと結構大きいです。僕らでも2,000~3,000円かかるのが、200円とか300円違う。
- ・タクシーはちょっと高いけど、みんな、運転手さんはみんなほとんど、今年金でやっとなる、そういう人らばっかだで、ちいと儲けさせたりやいうの、本当に。
- ・どんだけ貯金しとっても、八事へ持ってけえへんで、これ。このタウンバスもちょっと検討考えますけど、まあタクシーがようやくこれで、来年春からはみんな1割引になる。まだ知らん言うてました、結構年寄りが乗っても。
- ・ただ、名タクの運転手に聞くと1日1人か2人は乗るな。大体みんな病院へ行くときに、これは。そこは努力しとる一応タクシーで。

【13 人目】

- ・タクシーに乗りなれているといいと思うんですけど、大体名古屋市民の方たちはあまりタクシーに乗らないね。

【市長】

- ・質素だでな。

【13 人目】

- ・ええ。敬老パスで恩恵にあずかっているんで、やっぱりバスのほうが。

【市長】

- ・そりゃバスはただだけど、敬老パスというのは、敬老パスもマナカでやると1割引になるんですよ。ということでございます。

【13 人目】

- ・栄まで出るときとかありますので、身近なバスをぜひお願いしたいと思います。

【市長】

- ・敬老パスが当たり前だと思われるかわからんけど。東京だと 2 万円じゃないですか。2 万円で 70 歳からという。だで、むちゃくちゃ安いんですよ、名古屋。これ。これを上げよ上げよで、これはもう絶対上げない。
- ・何で上げるんだ言ったら、年寄りが増えるので乗る人が増える。年寄り乗らんだって、空気乗せて走っとるがやって。確かにそうだってなりまして、値上げはしませんということですよ。
- ・14 人目の方の夜の研究をということなんだけど、夜の仕事をどういうふうにかこれ、やらせるというか。

【14 人目】

- ・ロボットでできるだけ。ロボットにやらせる。

【市長】

- ・ロボットにして、バイトやっとる人にはうちへ帰ってと。

【14 人目】

- ・そうすると、地域も若い人たちが昔に戻りますので。

【市長】

- ・お母ちゃんと飯食ったりとか。これ、一遍区長、ほんならモデル実施のほうがおもしろい、瑞穂区で。これは。
- ・なるべくロボットを瑞穂区の人で、瑞穂区でないところに勤めとるところもあるもんで、そういうところにも呼びかけなかん。残業させてくれとロボットに。うちへ帰ってお母ちゃんと一緒に酒飲んでちょと。それだけですわな、これ。一遍やってみやあ。
- ・それから、15 人目の方。ありがとうございます。
- ・これ、実は大抵予算に入っとると思いますけど、2 通りあるんですけど、小学生ぐらいから科学者になるような人間をやっぱり育てよまいと。
- ・1 つは、天体望遠鏡をちょっとええやつにしよまいと。夜、学校に。これ、本当は誰が教えるんだというのは、近所の大学の天文クラブとか、マエストロがそこに見えますけど、年食ってもプロの人がいますので、そういうみんなで天体望遠鏡が 1 つ。
- ・それからもう 1 個は、ロボットを組み立てる、そういう資金もあるですよ。この間、やるなら全小学校に入れよと。全小学校で幾ら言っとったかな、16 億ぐらいかかるかな。3 年ぐらい使いますけど、みんなでロボットを組み立てることをやるんです。
- ・そういうのを今ちょうど考えとるところです。たまたまレゴブロックみたいなものを使うんだけど、そうすると何人かでやるし、小学校の中でも上級生とか下級生と一緒にやることもできるということで、科学に接するには非常にええじゃないかというところで、

今ちょうど検討中です。もっと進んでますけど。予算どりするかどうかというところまでできております。

- ・そういうことで、また何ぞいい案があったら教えてちょうだい。ということでございます。

【コーディネーター】

- ・お願いします。

【企画調整監】

- ・11 人目の方から、外国人の問題についてご指摘をいただきましてありがとうございます。
- ・この問題につきましても、他のタウンミーティングにおきましても、外国人の方の生活をどういうふうにするかといったような問題についてはご指摘をいただいております、私ども行政といたしましても、大変大きい課題だと思っております。
- ・今、名古屋市内で外国人の方、約 8 万人おみえになりまして、急速に増えております。名古屋に定住されている方、人口が名古屋はまだ増えておりますけど、その半分は外国人の方で名古屋の人口は増えている。ベトナムの方、ネパールの方が増えているような状況でございます、これから企業の労働力の不足の問題もありますけども、外国人の方も、それぞれの地域の中で生活にどうやってなじんでいくのかといったような問題、それから教育の問題もございます。いずれ、家族で外国人の方が見えますと、例えば小中学校でそうした方の言語をどう対応をするかといったような問題もございますので、それは、ぜひ市民の皆様とよくご相談しながら、国の施策としても方針がかたまっておりませんので、これから名古屋が先行してやっぱり課題を解決しながら対応していくようなことだと考えております。
- ・それから、15 人目の方から IT、IoT の関係についてご指摘ございまして、まさにそのとおりだと思っております。
- ・名古屋の場合はものづくりのまちでございますので、ここが崩れますと、やっぱり名古屋自体が太刀打ちができないというようなことも考えておりますので、やはり IT、IoT、ロボットについて、産業の基盤も含めまして、どうふうにしていくのかといったことは真剣に考えていきたいと思っております。
- ・また、女性の方が相当東京にとられておりますけども、やっぱりこの辺の IT とか IoT とかロボットの関係の基盤が、産業基盤ですね、これが圧倒的に、東京に比べて名古屋の場合薄いという問題もありますので、産業をつくるということも含めまして対応してまいりたいと考えてございます。

【市長】

- ・外国人のあれはね、この間 NHK でやってました。つい 1 週間ぐらい前ですわ。
- ・ベトナムの人が出てきて、ある程度長いこと住んどる人が。自分で本当は、だから日本語もベトナム語も相当話せるんです。その人が仲介役になって、新しいベトナム人の何かいろいろ導く。そういうスタッフをつくってやっとならということだで、わし、これや

るまいと。ベトナムではあつと。英語の人は結構おりますけど。

- ・そういう人が骨折って、学区連協に関与してもおもしろいと思いますよ。外国人が来るとみんな、学区連協の方々はびっくりこいて、どうなるかわかりませんが、大事な提案だと思います。

【企画部長】

- ・すみません幾つか。
- ・先ほどの学区連協の関係で、外国人の方々に対する取り組みを伺いまして、非常に傾聴に値するご意見だと思っておりますが、先ほど言われましたように、支援というのは必ず要るんだと思います。
- ・調整監からも言いましたように、名古屋に外国人、住まれている方がこれから増えていくだろうということだと、こういうコミュニティ、広く言えばこれは外国人の方々だけではなくて、コミュニティの形成という部分で非常に大きな問題になっているかなと思います。1つは、そういう大きなコミュニティの形成という問題として、1つ課題として我々も捉えておりますので、そういうものを捉えつつ、また、実は、私が自分の住んでいる地区のところで、外国の方が住まれて、区政協力委員の方が非常に苦勞されている。私も実際に経験しております。
- ・こういうところを見ると、かなりフォローが要るんだと、それから周りの方々の理解が要るんだということもございますので、そういうことを含めながら考えていかなきゃいけない検討事項だと思っておりますということでございます。
- ・それから、14人目の方が言われたことですが、IoTの関係ですけど、ロボットというのはなかなか課題で、これからまだまだ進めていかなきゃいけない、進歩していかなきゃいけないということもございますが、名古屋市もIoT、AIというのを重視しておりますので、産業施策としてこれは非常に重要な分野だということと考えておるので、こちらを進めていきたいですが、もう1つ課題として、ワーク・ライフ・バランスという問題でもあったかと思っております。IoT、AIということ以外に、このワーク・ライフ・バランスということも1つの課題だと捉えておりますので、ロボットということ、それからもう1つ、ソフト面としてのワーク・ライフ・バランス、こちら重要な施策の一つと考えております。
- ・それから、最後の15人目の方の言われた、これ、教育という部分もあるんですけど、はざまにあるということですね、ある意味これは。はざまにいる人たちをどうするんだと、そういうふうに理解させていただきました。
- ・こういうIoTの人材というのはこれからたくさん育成していかなきゃいけないという部分では、非常にいい示唆を与えていただいたと思います。ありがとうございます。
- ・それから、今日いただいたご意見ですけど、こういったものについては、関係ある部署のところに伝えさせていただいておりますので、そういう形で関係部局にあわせて伝えさせていただくということをお伝えさせていただきます。
- ・ありがとうございます。

【市長】

- ・最後にちょっと一言言っておきますけれども、外国人の人、よう言っとるんですわ。みんな困ってござるで、ようけおるで、区役所の職員と市役所の職員が家庭訪問しろとちやんと。これで、区役所の職員、市役所の全職員 2 万 5,000 が。教員まで入れると 3 万 5,000 人。100 万世帯ありますから、外国人に限らず、全部行っても、教員まで入れると 30 軒、これ。教員入れなかったら 40 軒。そんなもんなんだ、全部回っても。
- ・その中に、外国人は外国人で行ってもええし。そうすると、やっぱり血も心も通うんですわ。アイラブユーって行きゃいい。ハウアーユーって。アイ・アム・シティオフィサー誰々って、そうやってやってこいと。やっぱり足を運んで心を届ける、基本なんだね、これ。絶対やらんね。
- ・だで、そこら辺のところをひとつ皆さんも。正直言って、そういう現状ですわ。
- ・何でやらんのだと。

【フロア】

- ・やっぱりコンビニのお嬢さん方ってほとんど外国人です。

【市長】

- ・ん。

【フロア】

- ・コンビニ。

【市長】

- ・コンビニの。そうそうそうそう。そりゃ仕事やつとるかな。住んどる人もおるわけだし、健康保険のことやいろいろ困っとる人ようけおると思いますよ、これ。やっぱり尋ねることをする。そうすると、わしがよう言っとるのは、市の職員というのは非常に尊敬されるよと、そういうことやると。ありがとと、絶対サンキューベリーマッチって言います、外国人は。でしょ。
- ・だで、やらないかん。何でできんか。

【フロア】

- ・入社した方はぜひ外に出してほしい。

【市長】

- ・ええこと言われる。
- ・トヨタなんか新入社員は 1 軒 1 軒回って車を売るんです。当たり前なんです、それはということなんだけど、やらん言うとる。何でやらんのか言うたら、この間言われた。何ですか、最近の何とか詐欺に間違えらえると。
- ・何を言っとんだという現状ですわ。ということ。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・すみません。私の進行がよろしくなくて、もう時間がちょっと過ぎておりますので、ここで一旦切らせていただきまして、最後に改めて、まず区長さんから一言いただいてもよろしいでしょうか。お願いいたします。

【区長】

- ・失礼いたします。
- ・本日は、皆様方の次期総合計画に対するいろんな意見を頂戴いたしまして、本当にありがとうございます。
- ・やっぱり瑞穂区内の公園の問題とか、歴史的に由緒あるまちを大切にしてほしいとか、それから身近なところでいいますと、やはり外国人との共生のお話が出ました。外国人との共生というのは、本当にこれから大きな課題だなと私も思っております、特に文化とかコミュニティというよりも、まず防災ですね。防災のとき、本当に外国人の方が取り残されないようにするというのも非常に大切だと思っておりますので、ここはやっぱり行政のバックアップも欲しいと言われましたので、そこは私どもも考えていかなければいけないと。
- ・やっぱり区政さんと私ども両輪となって区政運営、市政運営を行っておりますので、そういうふうにしていくことが大切だと思っております。
- ・あと、それ以外に、本当にもっとエリアの広い話ですね、樹木とか、それから川の問題とか、あと、名古屋港の話とか、コミュニティバス頑張るといってお話でしたけれど、IoT、まさに次世代産業のことで、次世代産業は実はそういったことを所管する部署というのは市民経済局にもございますけれども、徐々に、民間とか大学とかと連携しながら徐々に行っておるところでございます。
- ・やはりこの地域というのはものづくりということで、そこは本当にこの地域の根幹をなす部分だと思っておりますので、そこは市挙げてきちっとやっていくお話ではないのかなと思っております。
- ・あと、市長さんから、区は権限がないからというお話をされましたけれど、私ども確かに市長から権限を委任されておりますことにつきましては、即対応していかなくてはいけないと思っております。ただ、権限を委任受けていない事柄につきましても、やっぱり調整役、やっぱり区役所というのは地域の身近なところにおける行政機関ですので、調整役を担っていかないといけないと思っておりますので、市長さんが言われたように、皆様方のご意見を、個々の意見というよりも、できますれば、町内単位とか、先ほど区政制度という良い制度があるというお話も頂戴しましたけれども、学区単位とか、そういった形でご要望を頂戴いたしますと、私どもも調整しやすいといえますか、後押しになると思っておりますので、その辺はきちっと担っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
- ・本日は本当にいろいろとありがとうございました。
- ・ここには区役所の職員、土木、それから消防、それから環境の職員もおりますので、皆様方から出していただきました意見を今後も参考にさせていただきたいと思っております。

・本日はどうもありがとうございました。

【コーディネーター】

・ありがとうございました。

【市長】

・すみません、ありがとうございました。

・ウイー・アー・パブリックサーバントです。一番重要なことなの、公務員にとって。意外と忘れるんです、これ。税金が自動的に入ってきますんで当たり前だと思っちゃう。だで、わーわー言っとるわけよ、わしが。

・これ、今日出てきたことがきちっとフォローされるかどうか、それが非常に重要だということでございます。もしまずかったら、市長ホットラインに入れてちょ。ということでございます。

・よう来ていただきました。今日はなかなか盛り上がりましたよ。ありがとうございます。サンキューベリーマッチ。

【コーディネーター】

・どうもありがとうございました。

(以上)